

審判員派遣報告書

1	派遣事業名 令和元年度全国高等学校総合体育大会 (インターハイ2019)	2	派遣期日 研修 7月27日 本戦 7月28日～8月2日
3	報告者名 仲地祥吾	4	派遣先 鹿児島県 川内市

5 大会概要 および 大会結果			
大会名称	令和元年度全国高等学校総合体育大会 (インターハイ2019)	大会期間	研修 7月27日 本戦 7月28日～8月2日
大会内容	研修会: 座学 本戦: 各県代表によるトーナメント戦		

6 担当したGame					
No	期日	対戦カード	R/U	相手審判	ゲーム雑感
1	7月28日	飛龍-光泉	U1	川井氏(鹿児島) 山口氏(鹿児島)	飛龍が終始主導権を握り、勝利した。
2	7月29日	明星-大阪薫英	U1	久米氏(秋田) 名取氏(長野)	一進一退の試合展開であった。薫英が逃げ切り、勝利した
3	7月30日	広島皆実-実践学園	U2	福岡氏(長崎) 川井氏(鹿児島)	終盤ベースをつかんだ皆実が勝利した。

7 審判会議・その他ミーティング等内容、審判技術・判定基準等に関する事、全体の感想および提言等

7月27日(土)

研修① 研修会テーマ設定の意図・大会運営にあたって
 テーマ「処置ミスゼロに向けた3POメカニクスの実践」
 意図・・・バスケットボールの注目度が高くなってきている。
 選手ファーストからファンファーストに変わりつつある。
 一方でインテグリティ案件やSNSでの映像流出など悪い意味での注目もある。
 この大会も「プロ」「プロ予備軍」が存在し、判定ミス、処置間違いからのトラブルは社会で叩かれる時代になっている。

○昨今のトラブル事案
 外国人留学生事案→フラストレーションを抱えた選手・関係者に対する接し方について
 試合中に置けるトラブル事案 → 得点確認ミス EOG
 SNSやマスコミによる投稿や炎上

○PGCの大切さ
 今大会は全試合開始30分前にTOクルーとPGC実施。(進行はCC)

研修② 3PO MECHANICS / プレイコーリング～高校生で起こりうるケースについて
 良いゲーム運営に欠かせないこと ①クルーワーク ②ベーシックの徹底
 一人だけでも意識が欠けてはダメ。良いゲームだった時はクルー全員の成果。うまくいかなかった時は全員の責任
 『処置ミスゼロ』で大会を終えるためには → メカを意識し、徹底する

○Lead
 ① ボールとトレイルレフェリーがセンターラインを越えた時にどのポジションにボールがあるかを確認
 ②ボールラインを確認し必要に応じてクローズダウンポジションへ移動、必ずクローズダウンを経由
 ③ボールラインまで動いてローテーション完了
 【ローテーションを中断すべきケース】
 3Quick + Less than 5 seconds (shot clock) ※ノンワーキングエリアでは止まらない
 ノッキングすると正しい判定もできないし、メカが崩れる。微妙な時は決断してはっきりと！

○Center
 ①ストロングサイドのローポストでアクティブなマッチアップがあるかを確認する。あればリードがスイッチサイドを完了させるまで責任を持つ。(自分のプライマリのプレイも含めて)
 ②アクティブなマッチアップがない場合は自分のプライマリでアクティブなマッチアップがないかを確認。必要があればポジションを移動して見に行く。

○Trail
 ①リードがスイッチサイドするスピードと同じスピードでセンターに入る。
 ②センターが変わるのでミッドラインより手前のプレイに対し意識を高める。Pick the paint
 ③フレアスクリーンに対する意識

○今大会でチャレンジすべき点
 ①クロスコールをしない。②POCにこだわる。③ポジションアジャストする。クロスステップ含めて。

『どんな有名な審判でもミスは必ずあります。
 今大会でミスした時もゲーム中に振り返る必要はありません。
 残された時間に同じミスをしたい為に何をすべきか考える。
 ネガティブな思想はプラスになる事を生み出しません。
 ポジティブな考えでチャレンジを忘れず大会成功させましょう！』

研修③ 処置ミスゼロを目指して ～オフィシャルズの連携と役割～

○処置ミスを事前に防ぐためには・・・refereeとしての役割
 Rule 当然知っておかなければいけない
 Mechanics 判定を正確に生み出すツール
 PGC クルーでの確認、協力事項・確認事項の共有

○処置ミスが起きる原因は？
 クロック タイムアウト超過 選手超過 ナンバーコールミス 請求タイミング 同時刻入退場 シュータースイッチ…

〈原因〉
 防ぐことができる → メカの崩れ ルール適用ミス 不適格なポジション
 防ぐこと(予測)ができない → ノイズ メンタル 機材故障

○トラブルが生じた場合、オフィシャルズとしてどう乗り越えるか？ → 処置ミスに繋がらないために

- ルール クルー TO → Officialsの3つのツール
- Officialsの役割 正しい判定(処置ミスなし)→ Game
- トラブルが起きた時 → ルールに照らしわせて、より公平に

研修④ インテグリティと審判

研修⑤ 処置ミスゼロを目指して ~Official's Tools / IOT

- 3 or 2 意見が異なった時はデッドになった時(そのショット成功時)に止めて確認
- OOB 推測で判定はしない。確認できなかった時はヘルプをリクエスト。
 - Presentation
- Crew communication タイムアウトのコミュニケーション
 - 必要なこと、先のことを話す。過去は振り返らない。
 - クルー間のコミュニケーションは分かりやすく、簡潔に。
 - 見たことを信じて、オープンマインド。

最後になりましたが、今回の派遣においてご支援していただきました香川県協会の皆様に感謝申し上げます。今後も引き続きよろしくお願いいたします。